

大学院・社会文化論専攻履修モデル

社会文化論専攻には博士前期課程（2年）と博士後期課程（3年）が設けられています。前期課程には、研究コース・総合コースの2つのコースがあります。両コースとも修業年限は2年ですが、それを4年とする長期履修学生の制度も設けられています。研究コースは、専門分野で活躍する研究者を養成することをめざし、前期課程修了後、さらに研究を深めるため後期課程へ進学する可能性を考えている人が対象です。総合コースは、必ずしも専門的な研究者になることをめざすわけではありませんが、地域で実践活動を行っている人、専門的知識やノウハウを生かした仕事をしている人たちがさらにレベルアップしていくためのコースです。本専攻は、対象地域では日本・欧米とアジア・アフリカ、専門領域では欧米文化、日本史、文化人類学、女性史、ジェンダー、社会学、メディア・コミュニケーション、NPO、地域福祉と多様ですので、ここでは前期課程において4つの履修モデルを挙げておきます。まず研究コースとして社会学（家族研究）と欧米文化（難民問題研究）を対象にした場合、次に総合コースとしてメディア・コミュニケーション（携帯電話研究）を対象にした場合、同じくそれを長期履修した場合の4つのケースです。

<前期課程・研究コース 社会学（家族研究）を専門分野とする場合>

	1年次		2年次	
	科目	単位数	科目	単位数
一般研究科目	社会学研究Ⅰ・ⅡA	4	社会学研究Ⅰ・ⅡB	4
	女性史・ジェンダー研究Ⅰ・ⅡA	4		
特殊研究科目	女性史・ジェンダー演習B	4	地域福祉・NPO演習B	4
	地域福祉・NPO演習A	4		
論文演習科目	論文演習Ⅰ	4	論文演習Ⅱ	4
課題研究科目				

前期課程・研究コースの修了には、一般研究科目と特殊研究科目をあわせて22単位、論文演習科目8単位、合計30単位の取得と修士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。

<前期課程・研究コース 欧米文化（難民問題研究）を専門分野とする場合>

	1年次		2年次	
	科目	単位数	科目	単位数
一般研究科目	欧米文化研究Ⅰ・ⅡA	4	文化人類学研究Ⅰ・ⅡA	4
	欧米文化研究Ⅰ・ⅡB	4	女性史・ジェンダー研究Ⅰ・ⅡA	4
特殊研究科目	女性史・ジェンダー演習B	4		
	地域福祉・NPO演習A	4		
論文演習科目	論文演習Ⅰ	4	論文演習Ⅱ	4
課題研究科目				

前期課程・研究コースの修了には、一般研究科目と特殊研究科目をあわせて22単位、論文演習科目8単位、合計30単位の取得と修士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。

<前期課程・総合コース メディア・コミュニケーション（携帯電話研究）を専門分野とする場合>

	1年次		2年次	
	科目	単位数	科目	単位数
一般研究科目	社会学研究Ⅰ・ⅡB	4		
	メディア・コミュニケーション研究Ⅰ・ⅡA	4		
	メディア・コミュニケーション研究Ⅰ・ⅡB	4		
特殊研究科目	女性史・ジェンダー演習B	4	メディア・コミュニケーション演習A	4
	地域福祉・NPO演習A	4	地域福祉・NPO演習B	4
論文演習科目				
課題研究科目	課題研究Ⅰ	4	課題研究Ⅱ	4

前期課程・総合コースの修了には、一般研究科目と特殊研究科目をあわせて26単位、課題研究科目8単位、合計34単位の取得と「特定課題研究の成果」の審査及び最終試験に合格することが必要です。

＜前期課程・総合コース（長期履修） メディア・コミュニケーション（携帯電話研究）を専門分野とする場合＞

	1年次		2年次	
	科目	単位数	科目	単位数
一般研究科目	メディア・コミュニケーション研究Ⅰ・ⅡA	4	メディア・コミュニケーション研究Ⅰ・ⅡB	4
特殊研究科目	メディア・コミュニケーション演習A	4		
	地域福祉・NPO演習A	4		
論文演習科目				
課題研究科目			課題研究Ⅰ	4

	3年次		4年次	
	科目	単位数	科目	単位数
一般研究科目	社会学研究Ⅰ・ⅡB	4		
特殊研究科目	地域福祉・NPO演習B	4	女性史・ジェンダー演習B	4
論文演習科目				
課題研究科目			課題研究Ⅱ	4

前期課程・総合コースの修了には、一般研究科目と特殊研究科目をあわせて26単位、課題研究科目8単位、合計34単位の取得と「特定課題研究の成果」の審査及び最終試験に合格することが必要です。

長期履修学生の修業年限は4年です。各年次に履修登録することのできる単位数は、原則として14単位を超えることができません。